

Topic 1

結婚や出産に かかるお金は どれくらい？

知っておきたい基礎知識

Topic 2

公的年金、 いくらもらえる？

将来に向けた
備えと心構え

お問い合わせ・ご相談は
お近くのろうきんへ

発行元／中央労働金庫 営業統括部
女性応援プロジェクト事務局
東京都千代田区神田駿河台2-5
中央労働金庫 登録金融機関
関東財務局長(登金)第259号

編集協力／telling,編集部・WORKO!プロジェクト

ろうきんイメージモデル
高梨臨

結婚や出産にかかるお金はどれくらい？

知っておきたい基礎知識

女性の生涯に待ち受けているさまざまな選択肢のうち、人生の中で大きなイベントでもある結婚や出産。収入や支出が変化したり、大きな出費が発生したりと経済面で大きな影響があります。いざ結婚や妊娠をしようと思った時に、お金が足りないという事態は避けたいもの。そこで、やさしいお金の専門家の横川楓さんに、結婚や出産にかかる費用や、公的なサポートについて話を聞きました。



意外と知らない結婚・出産の費用

実際に結婚や出産を経験した人から、「こんなにお金がかかるのかと驚いた」という声をよく聞きます。それまで費用について考えたことがなく、経験して初めて知ったという人は意外に多いようです。現在具体的な予定はなく、自分が将来どのような選択をするか分からないという人でも、費用の相場感や公的な支援についての基礎知識を持っておけば、結婚や出産への意識が変わってきます。

挙式・披露宴は平均362万円、コロナ禍で変化も

「結婚」自体は婚姻届を役所に提出するだけであるため、お金はかからないといえますが、ライフスタイルは大きく変わります。「結婚式」の費用を見てみましょう。リクルートブライダル総研の「ゼクシィ結婚トレンド調査2020」によると、コロナ禍が本格化する前の2019年4月～2020年3月では、挙式と披露宴の費用総額は全国平均362.3万円でした。親族や友人を招待したら100万円以上かかるのが普通で、料理や衣装などを豪華にすればするほど費用は高くなります。「新婚旅行」の費用は、平均65.1万円(同調査)。調査当時に比べて、新型コロナの影響で当面は海外に行くことが難しいでしょうから、逆にコストカットができる環境だといえます。そこはポジティブに受け止めて、代わりに住居費や子どもの教育費に充てるという発想に転換してみましょう。

結婚・出産にかかる費用



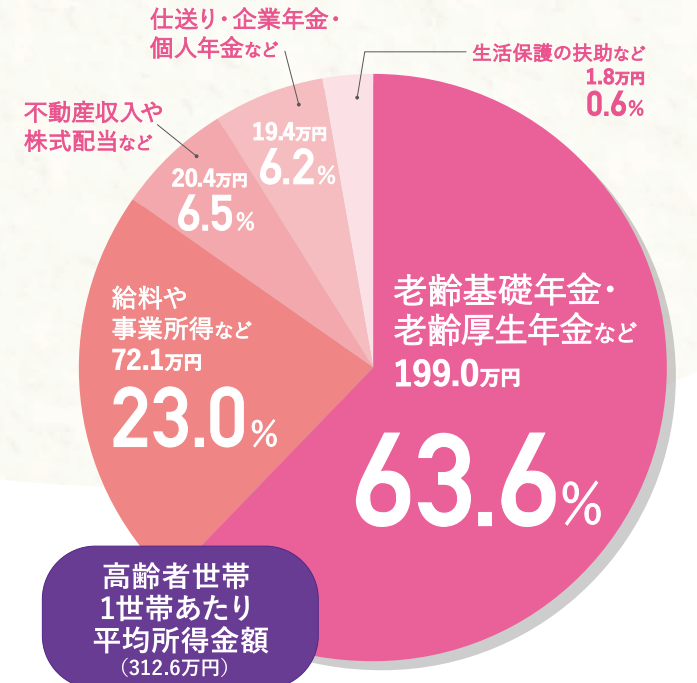
(リクルートブライダル総研「ゼクシィ結婚トレンド調査2020」) (リクルートブライダル総研「ゼクシィ結婚トレンド調査2020」) (2019年度、厚生労働省保険局調べ)

「結婚費用のコロナ禍での変化は？」
「他にはどんなサポートがあるの？」
続きは **Rukuo WEBサイトへ!**



公的年金、いくらもらえる？ 将来に向けた備えと心構え

老後の生活を支えるお金のなかで、大きな比率を占めるのが公的年金です。ただ、自分がいくら年金を受け取ることができるのかよく知らない人も多いのではないのでしょうか。制度は複雑ですが、仕組みなどいくつかのポイントをおさえておくことが大切です。受け取れる年金額の目安や、将来のお金の備えについて家計コンサルタントの八ツ井慶子さんにうかがいました。



※2019年国民生活基礎調査(厚生労働省)から作成。数字は四捨五入による端数処理の関係で100%にはなりません。

高齢者世帯、収入の6割が年金

公的年金は、大きく分けて「国民年金」と「厚生年金」の2種類があります。自営業の人やフリーランスの人、仕事に就いていない人などが加入するのが国民年金、会社員や公務員は国民年金に加え厚生年金に加入します。

国民年金の保険料は定額で、月1万6,610円(2021年度時点)。20歳から59歳までの40年間保険料を納めると、65歳から年間78万9,900円(ひと月あたり6万5,075円)の老齢基礎年金を受け取ることができます。

厚生年金の保険料は、月収に相当する「標準報酬月額」(賞与は「標準賞与月額」)の18.3%(2021年度時点)で、個人によって異なります。保険料は労使折半で、仮に標準報酬月額が20万円であれば加入者本人の負担は月1万8,300円です。厚生年金は、老齢基礎年金に老齢厚生年金が上乗せされて支給されるため「2階建て」と呼ばれ、平均受給額は月約14万6,000円です(2019年度)。

厚生労働省の2019年国民生活基礎調査によると、公的年金は高齢者世帯の収入の6割を占めていて、生活の大きな支えとなっていることがみてとれます。

家計コンサルタントの八ツ井慶子さんは「『人生100年時代』といわれる未経験の超長寿社会を迎える日本では、少子化で現役世代の人口比率が下がり続け、年金制度も大きな変更を迫られる可能性があります。ただ、年金は老後生活の大事な支え。制度が変わるとしても現状の年金の仕組みや受給額を把握しておくことは大切です」と話します。

「今の働き方で受け取れる年金額はどれくらい？」
「少しでも受取額を増やすためには？」
もっと知りたい方は **Rukuo WEBサイトへ!**



▼令和3年度「ねんきん定期便」50歳未満[裏]

50歳未満の人には「これまでの加入実績に応じた年金額」が示されます。今後保険料を支払うことでこの額は増えます。

▼令和3年度「ねんきん定期便」50歳以上[裏]

50歳以上の人には「現在の加入条件が60歳まで続くと仮定した見込み額」が示されます。

「ねんきん定期便」見るときのポイント

実際には、結婚や出産といったライフステージを経て、働き方が流動的になることも多いでしょう。個々人の年金加入状況や受給額の目安を知るためのツールとしては、「ねんきん定期便」や「ねんきんネット」があります。

「ねんきん定期便」は毎年の誕生日(1日生まれの人は前月)に、日本年金機構からハガキで自宅に送られてくる通知です。35歳、45歳、59歳になる年には封書で届きます。定期便には個人の保険料納付額の累計や年金加入期間が記されています。年金受給額に関する項目もありますが、50歳未満(※1)の人と50歳以上(※2)の人では内容が異なります。

40歳の人に届く定期便には、40歳までに納めた保険料に対応する受給額が記されています。八ツ井さんは「30代や40代で『自分の年金額はこんなに少ないのか』と誤解をしている人もいます。あくまで加入実績に応じた額であって、その後も保険料を支払っていくことで年金額も増えていく仕組みです」と言います。

※1 50歳未満……これまでの加入実績に応じた受給額
※2 50歳以上……現在の加入条件が60歳まで続くと仮定した見込み額

iDeCoとつみたてNISAって
最近よく聞くけど
イマイチわからない……



＼そんなあなたに！／

Web動画サイトのご紹介

WEBサイト
その1

セミナー紹介

〈ろうきん〉のサービスや、金融の基礎知識など、役立つ動画が盛りだくさん！ファイナンシャルプランナーによる分かりやすい講義やドラマ仕立てのコンテンツをご用意！

●コンテンツの例 ライフプラン・資産形成

視聴は
こちらから▼



WEBサイト
その2

商品紹介

資産運用商品や各種ローン商品についての動画をご用意！商品の特徴や利用の仕方を分かりやすく説明しています！

●コンテンツの例 iDeCo・つみたてNISA・マイプラン(カードローン)・カーライフローン

視聴は
こちらから▼



もっと詳しく知りたい！相談したい！
でも在宅勤務だし、
窓口まで行くのは面倒だな……

＼そんなあなたに！／

オンライン相談のご紹介

ご利用の
流れ

ご来店することなく、スマートフォン、パソコン、タブレットからご相談できます！

step1 オンライン相談の予約

Web予約

スマホ、パソコン、タブレットより申込ができます。ご相談内容やご予約希望日、お客様情報等をご入力ください。

※Web予約は相談希望日の2日前までとなります。前日・当日のご予約は、電話のみとなります。

※電話によるご予約は、営業店までご連絡ください。

step2 招待メールの受信

営業店より、ご予約日時とお客様専用の参加URL・ミーティング番号・ミーティングパスワードを記載した招待メールが届きます。

※ご予約日が非営業日で、翌営業日分のご予約をいただいた場合、招待メールがご相談日当日となりますので、あらかじめご了承ください。



step3 オンライン相談

ご予約の日時にお客様専用のミーティングルームに参加いただき、オンライン相談スタート。

※ミーティングルームへの参加方法は、招待メールにてご案内いたします。



詳しくは
コチラ

出かけられる時間が限られていたから、
家でゆっくり相談できてよかった！

